

■故障ではありません

- 以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。電源を切って寿命末期のランプを交換し電源を入れ直せば正常に点灯します。
「点灯中に突然ランプが消灯して暗くなったり、調光操作ができなくなったりする。電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる。」

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持パネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

1 電源を切る

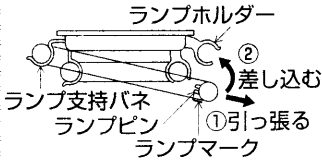
2 セードを取外す

■取外手順 2 を参考にセードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。
落下によるけがの原因になります。



ランプホルダー
ランプピン
ランプ支持パネ
ランプマーク
②差し込む
①引っ張る
※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

■取付手順 7 を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
変質の原因になるので水拭きしないでください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

型番 AHN536444・AHN536448・AHN536482・AHN537277・AHN537280

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

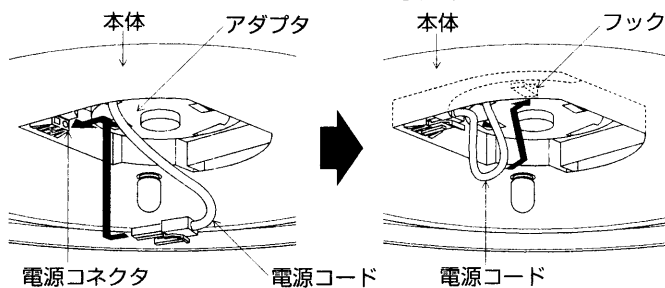
【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にに行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		 ローゼット シーリング ケースウェイはめ込み配線器具
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		●配線器具の出しろが少ないもの シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。		●破損している ●電源端子露出形
禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		
！ 厳守	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
<保証について>		<アフターサービスについて>	
1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。	
		※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の小泉産業「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。	
		※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日	
本体: 1年間 安定器: 3年間			
お客様様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

5 コネクタを接続する

余った電源コードはフックに引っ掛ける。

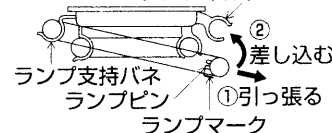


6 ランプを取付ける

ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。

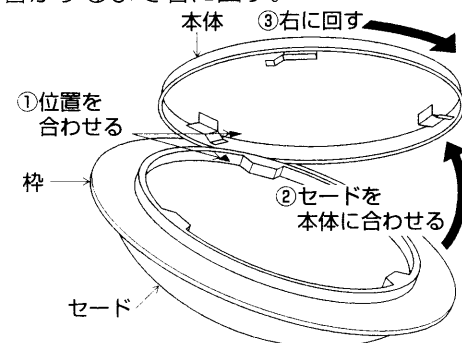


※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



7 セードを取付ける

枠を持ってセードと本体の矢印を合わせ、"カチッ"と音がするまで右に回す。



8 点灯の確認を行なう

■取外手順

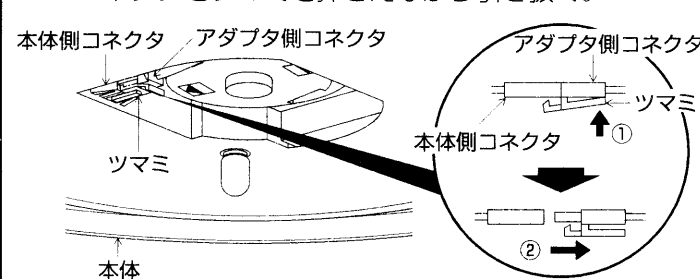
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

枠を持って、セードを"カチッ"と音がするまで左に回して取外す。

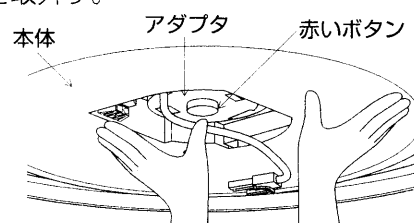
3 コネクタを取外す

コネクタをツマミを押さえながら引き抜く。



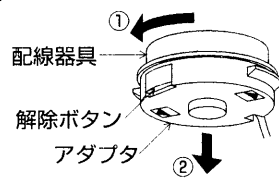
4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタの赤いボタンを押し、本体を取外す。



5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。



■壁スイッチで操作する（プルレス操作）

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。
- ※ただし、リモコン送信機で消灯した場合、豆球が点灯します。

- 点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態にもどります。ただし、リモコン送信機で消灯した場合、停電復帰後は豆球が点灯します。

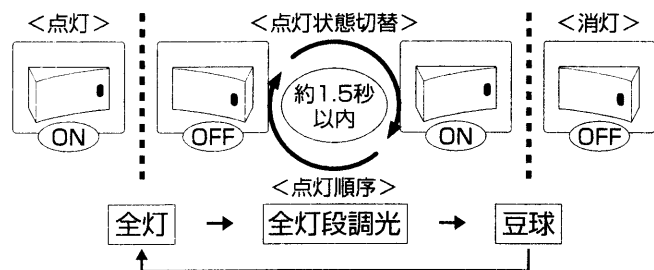
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けてください。

<ホテルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとプルレス動作が正常にはたらない場合があります。壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホテルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<壁スイッチをONにしても点灯しない場合>

一度OFFにし約1.5秒以内にONにすると全灯状態になります。市販のスイッチでON、OFFの状態がわかりにくいものがあります。確実に操作できているかご注意ください。

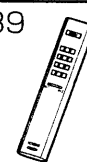


■リモコン(別売:AEE590139)で操作する

壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

別売リモコン送信機

AEE590139



明るさの切り替えができます。

AEE590141



照明のON・OFFタイマー、アラームの機能があります。順送りでの明るさの切り替えができます。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

チャンネルスイッチ

2台の器具を個々に操作する場合に器具側のチャンネルと合わせます。※「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

順送りスイッチ

全灯 → 全灯段階調光 → 豆球 → 消灯

の順送りが可能です。

全灯スイッチ

全灯で点灯します。

調光スイッチ

全灯段階調光で点灯します。

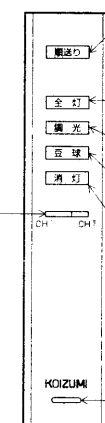
豆球スイッチ

豆球のみ点灯します。

消灯スイッチ

全てのランプが消灯します。

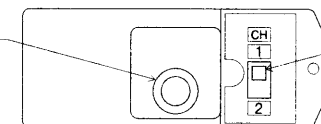
蓄光マーク



2 リモコン受信部のスイッチについて

リモコン受信部

リモコン送信機からの信号を受けます。(傷つけたり、汚したりしないでください。)



チャンネルスイッチ

出荷時は1に設定されています。器具施工時に変更されている場合がありますので、「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

3 チャンネルの設定について

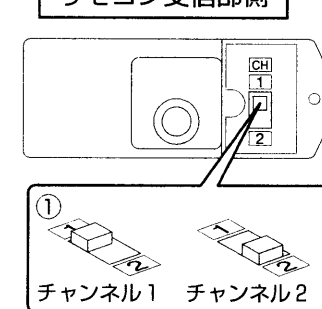
<1台の器具のみ操作する場合>

リモコン送信機のチャンネルをⅠにしてください。

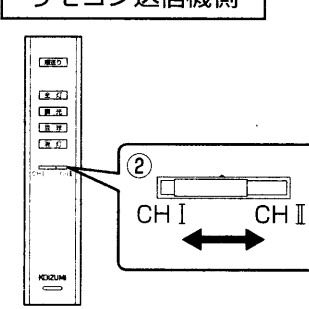
<2台の器具を操作する場合>

一室で2台の器具をリモコン送信機で操作する場合は、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルを1にし、他方を2にしてください。リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

リモコン受信部側



リモコン送信機側



※万一、動作に異常が生じた場合、電源を一度切って再度入れ直してください。(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は電源コネクタを一度はずし、取付け直してください。)

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- 多灯用器具は間引き点灯しないでください。過大電流により安定器の短寿命の原因になります。